

年度		2025	開講学期	前期	単位数	2	時間割コード	QC65
授業科目名		情報基礎 A			担当教員名	伊藤 幸男		
授業科目名：英語		Basic Computer Science A						
重複科目名								
セット科目名								
開講情報			曜日	時限	時間割コード	【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき 科目（セット科目）		
		1	月	2	QC65			
主な対象学生		農学部 1						
科目の情報		科目の種別	教養教育科目		科目番号	GIS111B		
主な使用言語		Japanese						
履修上の条件								
担当教員情報	氏名（カナ）	伊藤 幸男（イトウ サチオ）						
	担当教員名（英語）	ITO, Sachio						
	常勤・非常勤	常勤						
	所属	農学部 地域環境科学科						
	研究室	農 - 2 - 4 1 0						
	公式サイト	岩手大学 研究者総覧：http://univdb.iwate-u.ac.jp/html/19_ja.html researchmap：						
	個人サイト							
	質問・相談方法	メールで事前に相談してください。						
他の担当教員		松木 佐和子、真坂 一彦、齋藤 仁志、中西 貴裕						
キーワード		AI・数理データサイエンス AI and Mathematical Data Science、情報セキュリティ・倫理・モラル Information Security, Information ethics and morals、情報検索 information retrieval、著作権 Copyright、エクセル Excel、プレゼンテーション Presentation、数理データ						
学位授与方針との関係		学位授与の方針：学士課程						
		幅広い基礎的知識：文化・社会・自然に関する諸現象についての学問的な基礎的知識を有する						10%
		学位授与の方針：学士課程						
		領域を超えた学際的知識：グローバル化、高度情報化、環境問題や持続可能性等の人類的諸課題を正しく捉えるための学際的知識を有する						10%
		学位授与の方針：学士課程						
授業の目的		情報リテラシー：多様な情報を適切かつモラルに則って収集・処理・分析し、その結果を有効に活用できる						80%
到達目標		本講義では、コンピュータおよび情報ネットワークに関する「基礎的な理論と技術」を習得し、学生生活および社会生活を送る上で身につけておくべき情報活用実践力の育成を図る。 また、近年重要視されている数理データサイエンス・AIについて、講義および演習を通じて理解を深める。 学内のネットワーク環境について理解し、情報探索ができるようになるとともに、ワープロ、表計算、プレゼンテーション各ソフトウェアを活用して、情報を処理して表現し、発信できるようになる。 情報システムの特性やヒューマンエラーに着目した事例を学び、情報セキュリティについて意識を高める。また、情報倫理・モラルや、著作権、個人情報保護、データ倫理などを踏まえ、情報・データを適切に取り扱うことが出来るようになる。 AI・数理データサイエンスについて理解を深めるとともに、表計算ソフトウェア等を活用したデータ分析ができるようになる。						
授業の概要		岩手大学のネットワークおよびインターネットやクラウドサービス等を有効に活用し、今後の学生生活、社会生活に役立つように、基本的なアプリケーションソフトウェアおよび電子メール等の活用についてそれぞれ演習を中心として実施する。 情報社会で被害者・加害者とならないよう、情報セキュリティ、情報倫理・モラル、個人情報保護や、情報・データの取り扱いについても概説する。 なお、近年重要視されているAI・数理データサイエンスについては、講義で概要をつかんだ後に、表計算ソフトウェアを活用して簡単なデータ分析の演習を行う。						
実務経験の有無と授業内容への反映								
授業の形式		講義および演習						
		遠隔授業への該当（全授業回の半数を超えてオンライン授業を実施する場合） 【しない】						
授業外学修（予習・復習・課題等）への指示		講義形式で行われた授業では配布資料や教科書の該当部分の復習を、また、実習形式で行われた授業では、目標に到達するまで各自で技能を修得すること。						

詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）						
回 / 週	授業内容	授業外学修（予習・復習・課題等）への指示			備考	
1	講義ガイダンス，本授業のオリエンテーション（授業の概要，評価方法の確認，学内ネットワーク利用の諸注意），システムの利用方法（PC，WebClass，クラウド）など	特になし				
2	情報の基礎情報とは（情報の重要性），計算機の数表現，情報の表現など（基数変換，浮動小数点表現，文字コード）	情報の基礎の復習				
3	情報セキュリティ（コンピュータセキュリティ，ネットワークセキュリティ），情報倫理・モラル，著作権	情報セキュリティ，情報倫理・モラル，著作権の復習				
4	ネットワークリテラシー，情報探索，個人情報保護，データ倫理・データセキュリティ	ネットワークリテラシー，情報探索，個人情報保護，データ倫理・データセキュリティの復習				
5	コンピュータの仕組みと基本操作・メール操作	コンピュータの仕組みと基本操作・メール操作の復習				
6	AI・数理データサイエンス入門	AI・数理データサイエンスの復習				
7	データ分析1 - エクセル 入力と演算 -	エクセル操作の復習				
8	データ分析2 - エクセル 関数 -	エクセル操作の復習				
9	データ分析3 - エクセル 図表の作成，統計処理等 -	エクセル操作の復習				
10	データ分析4 - エクセル 統計処理，データ分析等 -	エクセル操作の復習				
11	ワードの基本操作・機能の確認	ワード操作の復讐				
12	MSパワーポイントによるプレゼンテーション技法	パワーポイント操作の復習				
13	レポート作成の作法	レポート作成の作法の復習				
14	レポート作成演習	レポート作成の復習				
15						
16						
17						
18						
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点			
			関心・意欲	知識・理解	技能・表現	思考・判断
	平常点	60%				
	課題 1（エクセル 1 - 2）	10%				
	課題 2（エクセル 3 - 4）	10%				
	課題 3（レポート）	20%	○	○		○
評価の基準						
出席回数（60点）と3つの課題（10点、10点、20点）の100点満点で評価する。 出席率75%以上で、課題全てを提出した場合がこの科目に合格する最低ライン（可）である。 この条件を満たした上で、合計点70未満を「可」、70点以上80点未満を「良」、80点以上90点未満を「優」、90点以上を「秀」とする。						
履修における留意点						
教科書 / 教材		岩手大学情報教育教科書編集委員会 編、情報基礎 第5版 コンピュータの基本操作と情報活用術、学術図書出版社、2022年、978478061002				
参考文献						